

古典籍原本を使用した系図情報データベース形成の試み

相田 満  
Mitsuru Aida

Making an attempt at constructing a database-data  
by using the original work copy of pedigree

I'm proceeding to construct Pedigree-database by using the original work copy. Now I'd constructed the first regular-table. I think that there are three special distinctive features in this constructing method.

1. Inputting a tag-added original work copy
2. Adding the ID-data for marking relations
3. Recording original informations

発表者は、『諸家知譜拙記』、『群書類従』諸家系図、『尊卑分脈』などを始めとする系図資料のデータベース化に取り組んでいる。これらのデータベース構築については、以下の3点が特徴としてあげられよう。

1. データシートの切り出しを行わず、情報タグを書き込んだ原本から直接入力を行っていること。その結果、大量データを等質の情報精度にて形成可能としたこと。
2. ID管理による系図の関係情報を検索可能としていること。
3. 原本の情報をなるべく損なわぬよう、付帯情報も遡源可能となるよう、情報として取り込んでいること。

現在、これらのデータは、複雑な原本記述を、表データとして、第2次正規化を果たした段階にある。検索システムへ搭載して運用するに際しては、データのビジュアル化の問題、異なる資料間における人物同定機能サポート等、ユーザーインターフェイスの試行錯誤も必要だろう。そこで、今時の発表においては、その前段階に相当する、複雑な記述形式を有する大規模データを定式化するための手法を紹介する。



誤も必要だろう。そこで、今時の発表においては、その前段階に相当する、複雑な記述形式を有する大規模データを定式化するための手法を紹介する。

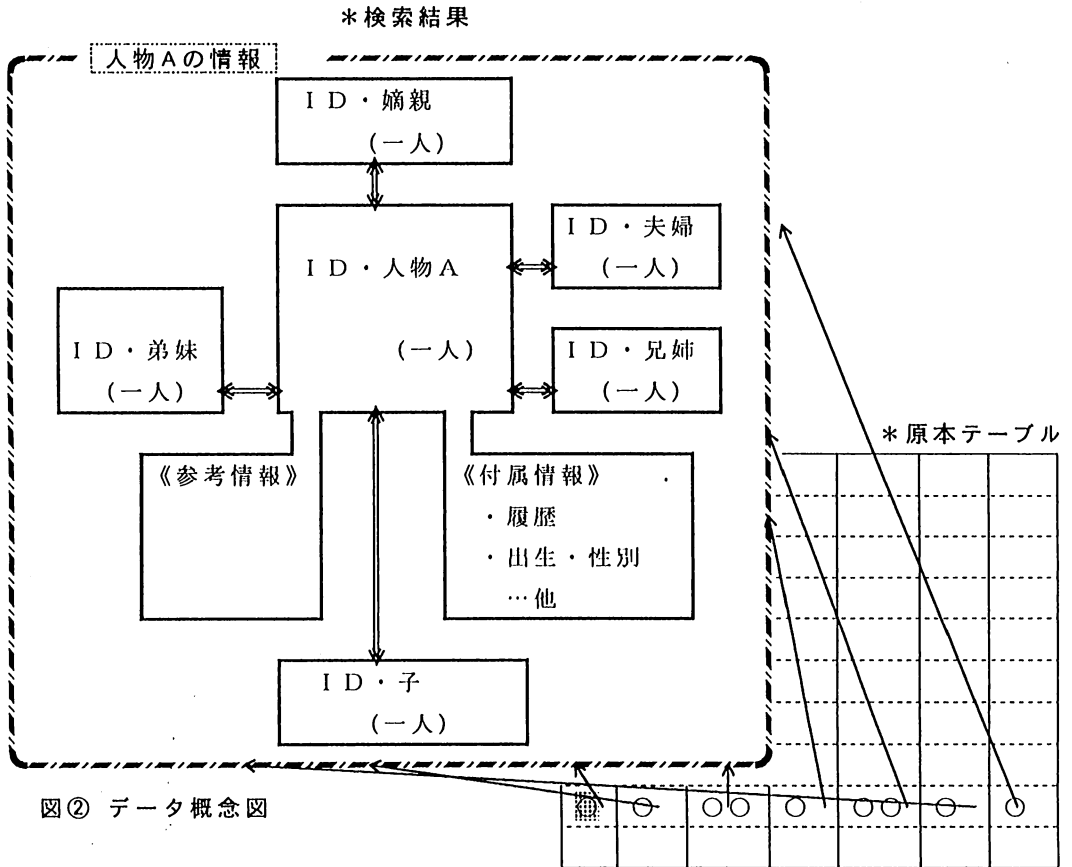
1. データの特徴

入力用原本の記述には、以下のような特徴がある。

- ① 不定形な人物情報と付帯情報
- ② 異体漢字の多さ
- ③ 記述の細かさ
- ④ 原本記載順序の不規則性

図① 『諸家知譜拙記』入力用シート

2. データの基本的考え方



データ入力は、資料の性質上、2段階に分けて行われる。

第1段階は、資料原本の記載情報をそこなうことなく、記述した第1次データの作成。  
 この段階で、人物IDの確定、付属情報の簡略な分類符号（データ分類タグ）の付加等が原本複写物に書き込まれ、それが指示に従って入力される。  
 校正時は、補助漢字が紙上に出力され、電子媒体では、以下の仕様にて納入される。

データ：彦波 ■ 武 ¥7652 ¥ ¥7623 ¥ 茅 葺 不合 尊  
 注) ■ …… 元字「彦」 該当字JISになし  
 ¥7652 ¥ …… 元字「鷹」の補助漢字区点番号  
 ¥7623 ¥ …… 元字「鷲」を「玄  
鷲」に同定

S09 藤原武智麻呂伝云。懐風藻作者。:

◎ J09 武智 鷹  
 正一位。N 同日廿七日 薨。五八  
 【五六一本】。贈正一位太政大臣。  
 母大紫冠蘇我連子【武羅自子一本】  
 女嬪子。兼伝曰其母宗我藏  
 大臣女也。

南家祖 ▲ 高倉敷祖

図③ データシートへの記入イメージ

### 3. 第1次データテーブルの作成

第1段階（初期入力）で入力されたデータは、以下の表構造を持つ。そのデータを基にデータを拡張し、親族関係情報の付加・付属情報の細分化、データの第2次正規化作業を行う。

F	G	H	I	K	J	L	M	N	O	B	D	A	C	E
姓氏ID	J小番号	データID(氏名)	嫡位記号	右脇書	名	名ルビ	分書1	分書2	参考頭注	職書名	続次	籍名	部立	資料名
え 07	03	え 07. 03	〇〇		中臣@ 常盤大 連公		F 黒田大連公一 男。※好印中臣連 姓仍鼻胤。			群書既従	巻第六十二	檢校嫡保 己一集	系録三	中臣氏 系図
え 07	14	え 07. 14	〇	一	@親基		祭主。正四位下。 少祐、權大 祐、權少祐、 大副。N天曆十年 #卒、七十三。		N延喜廿二年#正六位上、 任少祐。N延長五年正月# 轉權大祐。N承平三年正月 #權少祐。N天慶三年十月 七日#補祭主。	群書既従	巻第六十二	檢校嫡保 己一集	系録三	中臣氏 系図

図④ 初期入力時に形成されるデータテーブル

### 4. 第2次データテーブルの作成

H	I	K	J	L	M	N	O	B	D	A	C	E
データID	嫡位記号	右脇書	名	名ルビ	分書1	分書2	参考頭注	職書名	続次	籍名	部立	資料名
え 07. 03	〇〇		中臣@ 常盤大 連公		F X 黒田大連公一男。 B S 好印中臣連姓仍鼻胤。			群書既従	巻第六十二	檢校嫡保 己一集	系録三	中臣氏 系図
え 07. 14	〇	一	@親基		K X 祭主。 K X 正四位下。 K X 少祐 K X 權大祐 K X 權少祐 K X 大副 N E (天曆10年// / 天曆十年#卒、七十 三。		NK (延喜22年// //) 延喜廿二年#正六 位上、任少祐。 NK (延長6年/1月//) 延長五年正月# 轉權大祐。 NK (承平3年/1月//) 承平三年正月# 權少祐。 NK (天慶3年/10月/7日//) 天慶三年 十月七日#補祭主。	群書既従	巻第六十二	檢校嫡保 己一集	系録三	中臣氏 系図

①	②	う	え	お	か	あ	い	き	く	け	こ
第1階層	第2階層	嫡位 (1人ID)	子 (一人後) ID	兄弟 (1人ID)	弟妹 (1人後) ID	戻付ID	行付ID	性別	姓見出	名見出	氏系図
		え 07. 03	え 07. 04						中臣	常盤大連公	中臣
		え 0713	え 07. 16						中臣	親基	中臣

図⑤ 第2次入力時に形成される「系図構造化プレマスタデータ」テーブル

### 5. 検索用データテーブルの作成

検索用テーブルの構築に際しては、前項のデータを二つに分割し、

「人物マスター」

「細目マスター」

の2つのテーブルを作成し、IDをキーとして連結されたリレーショナルデータベースとして運用する。(→図⑥)

前項データテーブルからの変更点は、以下の通りである。

(1) タグの複数文字化 (M分書1・N分書2・O参考頭注の各項目中のデータのみに行われる処理)。

タグの意味…… (1文字だけのタグについては2文字目にXを立てる)

o K X : K an X

官職位階 (特に指示がない限り、無印のデータには、K Xを立てる)

- AX : AdressX 住居等
- BX : BetugoX 別号
- BS : BetugoStart 別号の始まり
- CX : CopyrightX 著作製作物
- EX : EndX 死亡等の記事
- FX : FatherX 父や出生秘密等
- HX : Houmyo (Holly name) X 法名
- MX : MotherX 母
- NX : NendataX 年号月データ
- NB : NendataBetugo 別号発生の年月データ
- NE : NendataEnd 死亡等の年月月データ
- NK : NendataKan 官職関係年月月データ
- NR : NendataRetire 隠退年月データ
- XX : XX その他

(2) 履歴年標準データの形成。

H	I	K	J	L	B	D	A	C	E
データID	納信記号	右納書	名	名ルビ	兼書名	横次	編者名	部立	資料格
え 07. 03	〇〇〇		中臣の常盤大進公		群書類従	巻第六十二	検交録保己一集	系譜前三	中臣氏系図
え 07. 14	〇	一	◎頼基		群書類従	巻第六十二	検交録保己一集	系譜前三	中臣氏系図

①	②	う	え	お	か	あ	い	き	く	け	こ
第1附層	第2附層	姉親 (1人) ID	子 (一人後) ID	兄弟 (1人) ID	弟妹 (1人) ID	戻大姉ID	行大姉ID	性別	姓見出	名見出	氏系図
		え 07. 03	え 07. 04						中臣	常盤進大進公	中臣
		え 0713	え 07. 15						中臣	頼基	中臣

《人物マスター》

H
データID
え 07. 03
え 07. 14

H	I	K	J	L					M	
連番	データID	和暦年	閏	月	日	酒類	小進番	位置	種別	分書1
10	え 07. 03									FX黒田大進公一乳
20	え 07. 03									BS好勝村臣頼政の鼻祖
30	え 07. 14						10		KX	祭主
40	え 07. 14						20		KX	正四位下
50	え 07. 14						30		KX	少侍
60	え 07. 14						40		KX	權大侍
70	え 07. 14						50		KX	權少侍
80	え 07. 14						60		KX	大副
90	え 07. 14	延喜12年				0922	70	頭書	NK	延喜廿二年#正六位上、任少侍
100	え 07. 14	延長6年		1月		0927	80	頭書	NK	延長五年正月#頼基大侍
110	え 07. 14	承平3年		1月		0933	90	頭書	NK	承平三年正月#權少侍
120	え 07. 14	天養3年		10月	7日	0940	100	頭書	NK	天養三年十月七日#補祭主
130	え 07. 14	天曆10年				0956	110	分書	NE	天曆十年#卒、七十三

《細目マスター》

図⑥ 検索用データテーブル

## 6. 進行状況

平成8年度中に、12, 134件のデータを作成（『諸家知譜拙記』、『群書類従』諸家系図）。平成9年度は、『尊卑分脈』のデータベース化を予定。